

# 記入例

## 児童手当 額改定認定請求書 額 改 定 届

提出日

小諸市長		現受給者の名前		提出年月日		※受付確認年月日	
令和 6 ・ 9 ・ 10		令和					
(ふりがな)		こもろ たろう		〒 384 - 8501			
氏名 (法人名等)		小諸 太郎		住所 (法人の主たる事務所の所在地)		小諸市相生町3-3-3	
性別		男・女		加入している 公的年金制度 の種類		ア 厚生年金保険 ※以下の共済組合の組合員である場合 は括弧内に○を記入してください。 ( ) 私立学校教職員共済 ( ) 国家公務員共済 ( ) 地方公務員等共済	
生年月日		昭和 60 ・ 1 ・ 1 平成				イ 国民年金 ウ、その他 ( )	
職業		ア 被用者 イ 公務員 ウ 被用者等でない者					

ア.被用者 厚生年金、共済年金に加入している場合（例：正社員）  
ウ.被用者等でない者 国民年金、未加入（20歳以上60歳未満以外）の場合（例：パート）  
※厚生年金・共済年金加入者に扶養されている第3号被保険者の場合は、「ウ」に該当します。  
（例：夫の扶養に入っている）

増 額 ・ 減 額

る 児 童

氏名	続柄	生 年 月 日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の 出国年月	住所	監護の 有無	生計 関係	※児童との関係 で、該当する 場合に○印
		平成 令和	同 ・ 別	令和 年 月		有 ・ 無	・ 同一 ・ 維持	・ 未成年後見人 ・ 父母指定者 ・ 同居父母
		平成	同 ・ 別	令和 年 月		有 ・ 無	・ 同一 ・ 維持	・ 未成年後見人 ・ 父母指定者

増額・減額の対象となる子  
（大学生年代の子）

監護していれば「有」  
（日常生活上の世話及び保護）

請求者の収入により日常生活の全部または一部を営んでいれば「有」（これを欠くと通常の生活水準を維持することができない場合）

増 額 又 は 減 額 の 原 因 と な る 児 童

（18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）

氏名	続柄	生 年 月 日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の 出国年月	住所	監護相当 の有無	生計費 負担 の有無
小諸 一郎	子	平成 16 ・ 4 ・ 15	同 ・ 別	令和 年 月	〇〇県〇〇市 〇〇123-1	有 ・ 無	有 ・ 無

他1名

増 額 し た 理 由

ア. 出生  
イ. その他（

2人以上いる場合は、他○名と記入

減 額 し た 理 由

ア. 死亡した  
イ. 監護しなくなった  
ウ. 生計を同じくしなくなった  
エ. 生計を維持しなくなった  
オ. 日本国内に住所を有しなくなった  
（留学を理由とするものを除く）  
カ. 未成年後見人でなくなった  
キ. 児童の兄弟等を監護相当の世話をしなくなった  
ク. 児童の兄弟等  
ケ. 父母指定者で  
（児童の生計を維持する父母等の帰国）  
コ. 児童自立生活援助を受け、里親等に委託され、又は児童福祉施設等に入所若しくは入院するに至った  
サ. 児童と同居しなくなった  
（単身赴任の場合を除く）  
シ. その他（

事 由 の 発 生 し た 年 月 日

令和 ・ ・

備考	※ 認 定 ・ 改 定 ・ 却 下	※認定・改定・ 却下年月日	※認定・改定 年月	※手当月額
		令和 ・ ・	令和 ・ ・	3歳未満分 円 3歳以上分 円 計 円

- ◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。
- ◎ ※印の欄は、記入しないでください。
- ◎ 字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。

(裏面)

備考

1. 必要があるときは、所要の変更又は調整を加えることができる。
2. 受給資格者に周知することにより、注意事項を省略することができる。